

# インターネットにおける情報の拡散と収束

## － 2ちゃんねるまとめブログを例に－

小高裕次

文藻外語學院日本語文系助理教授

### 1. はじめに

本発表の目的は、以下の二点である。一つ目は、日本のインターネットにおける情報の拡散と収束の状況を、2ちゃんねるまとめブログを例に、キュレーションという概念で説明することである。二つ目は、台湾の高等教育機関における日本語学科の授業において、2ちゃんねるまとめブログを学生に対してどのように教えることができるかを考察することである。

#### 1.1. キュレーションとは

イギリス・ネットクラフト社の調査によると、2011年9月におけるWEBサイトの数は485,173,671であり\*1、1995年8月の18,957\*2から爆発的に増加している。

WEBサイトの増加に伴い、その内容の専門化・細分化が進み、個人がインターネット上の全ての情報を知ることは不可能になっている。

岡田斗司夫は1996年の時点で、高度情報化社会においてもっとも力を持つ勢力を、次のように予測している。

これからの情報社会においてはソフト自体の価値や品質を見極め、ぴったり合うものを人々のお手元に届けることができる人、頼りになる批評家であり、コーディネーターたりうる人々、こういう人々がマルチメディア時代の最終勝者となりうるのだ\*3。

岡田の言う「ソフト」は、現在では「コンテンツ」と言い換えればしっくりくる。

佐々木俊尚(2011)は、日本では学芸員を意味する語である「キュレーター」が、近年英語圏のWEBサイトでは世界観や価値観をともなったものの見方を提供する人々を表す語として用いられていることを紹介し、キュレーションを「無数の情報の海の中から、自分の価値観や世界観に基づいて情報を拾い上げ、そこに新たな意味を与え、そして多くの人と共有すること\*4」と定義した。

例えば、台湾のニュース番組では、動画サイトのコンテンツをそのまま放送したり、掲示板の書き込みをそのままカメラで撮影し放送したりするなど、インターネット発の情報を取り上げることが多い。また、海外のニュース番組で流された映像をそのまま使用することも日常的に行われている。台

---

\*1 September 2011 Web Server Survey

\*2 December 2006 Web Server Survey

\*3 岡田(2000) P63.

\*4 佐々木(2011) 見返し裏

湾のニュースチャンネルは、すでにキュレーター的立場に立っていると書いていいだろう。

日本の場合、テレビや新聞といった旧メディアは自前のニュースソースで完結する 경우가多く、インターネット発の情報を紹介する頻度は少ない。また、インターネット発の情報を紹介する場合でも、独自の追加取材を行うことが一般的である。この状況は、旧メディア系が経営する WEB サイトにおいても同様である。また、インターネットを拠点とする新メディアについても、独自取材による一次情報が主であると言える。

一方、個人の運営するブログでは、新旧メディアによって発表されたニュースに対してコメントを述べたり、書籍・マンガや映画・アニメを紹介・批評したりするキュレーション的な内容が、身近雑記とともに一般的である。

## 1.2. まとめブログとは

日本語で書かれたブログの中でも、キュレーションという観点から見て最も先鋭的だと思われるのが、いわゆる「2ちゃんねるまとめブログ（以下、まとめブログと呼ぶ）」である。

まとめブログとは、2ちゃんねるのスレッド内容を転載することを目的として作成されたブログである。

まとめブログは、人気ブログを紹介するブログランキングサイトにおいて一つのカテゴリとして扱われている。例えば、「人気ブログランキング」<sup>\*5</sup>では「インターネット・コンピュータ」のサブカテゴリとして「2ch」が設けられており、250のまとめブログが紹介されている<sup>\*6</sup>。「にほんブログ村」<sup>\*7</sup>では「ネット」－「ネットブログ」の下位カテゴリとして「2ちゃんねる」が設けられ、620のまとめブログが紹介されている<sup>\*8</sup>。「FC2 ブログランキング」<sup>\*9</sup>では「サブカル」のサブカテゴリとして「2ちゃんねる」が設けられており、1069のまとめブログが紹介されている<sup>\*10</sup>。

まとめブログの作成を容易にするプログラムを提供している企業もある。株式会社ライブドアは、2008年6月27日<sup>\*11</sup>に、掲示板編集ツール「まとめるクン（仮）」<sup>\*12</sup>をクラウドサービスの形でリリースしている。また、株式会社ホットココアも、2011年3月7日<sup>\*13</sup>に同様のサービス「cloudnote」<sup>\*14</sup>

---

\*5人気ブログランキング <http://blog.with2.net/>

\*6「2ch まとめブログランキング」〈<http://blog.with2.net/rank1071-0.html>〉(2011年9月26日閲覧)

\*7にほんブログ村 <http://www.blogmura.com/>

\*8「2ちゃんねる人気ランキング」〈<http://internet.blogmura.com/2ch/>〉(2011年9月26日閲覧)

\*9FC2 ブログランキング <http://blogranking.fc2.com/>

\*10「2ちゃんねる ランキング」〈[http://blogranking.fc2.com/rank/450600\\_1.html](http://blogranking.fc2.com/rank/450600_1.html)〉(2011年9月26日閲覧)

\*11「掲示板編集ツール「まとめるクン（仮）」をリリース！」

〈[http://wiki.livedoor.jp/livedoor256789/d/%B7%E9%A8%C8%C4%CA%BC%A5%EB%A1\\_%E7%94%BE%A5%F2%A5%EA%A5%B9%A1%AA#](http://wiki.livedoor.jp/livedoor256789/d/%B7%E9%A8%C8%C4%CA%BC%A5%EB%A1_%E7%94%BE%A5%F2%A5%EA%A5%B9%A1%AA#)〉(最終更新 2008年6月27日 2011年9月26日閲覧)

\*12まとめるクン（仮） [http://wiki.livedoor.com/matomeru\\_kun/](http://wiki.livedoor.com/matomeru_kun/)

\*13「更新履歴[cloudnote]」〈<http://2ch.cloudnote.jp/docs/changelog>〉(2011年9月26日閲覧)

\*14cloudnote <http://2ch.cloudnote.jp/>

を開始している。

また、まとめブログのアクセス数については、多いものでは数 10 万から 100 万に達するものがある。例えば、まとめブログの一つ「ハムスター速報」<sup>\*15</sup>における 2011 年 9 月 20 日から 9 月 26 日までの一週間のアクセス数は以下のものであった。

表 1：「ハムスター速報」のアクセス数(2011/09/20-2011/09/26)<sup>\*16</sup>

9/20(火)	961, 161
9/21(水)	1, 059, 770
9/22(木)	965, 728
9/23(金)	928, 234
9/24(土)	1, 010, 570
9/25(日)	1, 033, 676
9/26(月)	1, 008, 162

現在、まとめブログはブログの 1 ジャンルとして確固たる地位を築いていると言ってよいだろう。

## 2. まとめブログとキュレーション

まとめブログによって、ブログ作成者は閲覧者に何を提供し、その対価として何を得ているのであろうか。また、まとめブログにはどのような問題点が存在するのであろうか。

### 2.1. まとめブログが提供するもの

まとめブログでは、「無数の情報の海の中から、自分の価値観や世界観に基づいて情報を拾い上げ」「多くの人と共有すること」が行われている。

2ちゃんねるの利用者数はおよそ 1000 万人である。社団法人日本アドバイザーズ協会 Web 広告研究会の調査によれば、2ちゃんねるの利用者数は 2006 年 12 月時点の 1031 万 5000 人から 2007 年 9 月時点で 868 万 1000 人と減少傾向にあったという<sup>\*17</sup>。ただし、ネットレイティングス社による 2008 年 11 月の調査では、2ちゃんねるの利用者数は 1170 万 1000 人と再び増加している<sup>\*18</sup>。

毎日更新される膨大な数のスレッドの中から、自分の興味にあったスレッドを選び出すのは面倒な作業である。まとめブログというフィルタを通すことによって閲覧の候補となるスレッドがある程度

\*15ハムスター速報 <http://hamusoku.com/>

\*16「2ch ブログあんでな livedoor Blog のアクセスランキング」〈<http://2ch.diveluck.com/ranking/>〉(2011 年 9 月 27 日閲覧) を元に作成

\*17社団法人日本アドバイザーズ協会 Web 広告研究会(2008)「「消費者メディア市場規模調査」結果発表」, p.5

\*18ネットレイティングス株式会社(2008)「Q&A サイトや「ウィキペディア」は職場でも重用、意外と高い「2ちゃんねる」の職場利用」 p.1

絞り込まれることは、2ちゃんねる閲覧者にとって大きなメリットである。

まとめブログでは、ブログ本文中にブログ作成者のコメントが書かれることは稀である。しかし、スレッドの流れに合わない書き込みを削除する・書き込みとその反応を対応させるために書き込みの順序を入れ替える・文字を大きくしたり色を変えたりして一部の書き込みを目立たせるといった編集が施されることが多い。その意味では、スレッドに「新たな意味を与え」ていると考えることができる。

まとめブログによって提供されるものは、まさにキュレーションされた情報である。先述の掲示板まとめサービス cloudnote の WEB サイトでは、「2ch をブラウザ上でキュレーションできる！」というコピーもあり<sup>\*19</sup>、同社がキュレーションという概念を強く意識していることが分かる。同時に、「まとめブログ＝キュレーションの一形態」という考え方も次第に浸透していくであろうと思われる。

そのほか、まとめブログには以下に挙げるようなメリットも存在する。

2ちゃんねるは、その仕様上の制約から、書き込み数が 1000 に到達したスレッド・一定の容量を超えたスレッド・一定期間書き込みがなかったスレッドは一般ユーザーの閲覧ができなくなる。そのため、過去のスレッドに簡単にアクセスできるまとめブログは重宝されている。

2ちゃんねるは、その仕様上からスレッドに画像や動画を貼り付けることができない。一般的なブラウザで閲覧した場合には画像ファイル・動画ファイルのリンク先 URL が表示されるだけであり、それらを視聴するためには URL をクリックして別のウィンドウなりタブなりを開く必要がある。2ちゃんねる専用ブラウザを導入すれば書き込みと画像を同時に見ることができるようになるが、専用ブラウザをダウンロードしインストールすることはインターネット初心者にとっては敷居の高いことである。まとめブログではこの問題が解消され、書き込みと画像を同時に見ることができるため、本来のマルチメディアとしてのインターネットを楽しむことができる。

## 2.2. まとめブロガーが得るもの

一方、まとめブログを作成することによって得られるものは、金銭的利益である。

まとめブログの多くはアフィリエイトを行っている。アフィリエイトとは、WEB サイト閲覧者が商品のリンクをクリックしたりリンク先の商品を購入したりすることで、WEB サイト経営者に報酬が支払われるシステムである。インターネット上では、「まとめブログで〇万円稼いだ」「まとめブログの売り上げを増やす方法」といった類のコンテンツが多数見られる。2ちゃんねるのスレッドというコンテンツで閲覧者を呼び込み、閲覧者が商品のリンクをクリックすることによってまとめブログ経営者が報酬を得るというビジネスモデルが確立しているのである。

まとめブログのデザインには共通する型が見られる。本体は三カラムであることが多く、中央のカラムは上部に自分のブログの他のページあるいは他のまとめブログの記事へのリンクが並び、次に2ちゃんねるのスレッドのコピーが掲載され、その下に再び記事へのリンクとコメント欄が並ぶ。左右のカラムの一方には商品へのリンク、もう一方には他のまとめブログのトップページへのリンクが貼

---

\*19 「キュレーションサービス[Cloudnote]」 <<http://cloudnote.jp/>> (2011年9月26日閲覧)

られる。このようなデザインは、まとめブログの作成者による試行錯誤の結果、ブログ相互のリンクを増やすことによりキーワード検索で上位にランキングされることを目指し、閲覧者によるクリック数を増やしてアフィリエイトの利益を増加させるために最適化されたものであると思われる。

### 2.3. まとめブログの問題点

まとめブログの負の側面としては、以下のような点が挙げられる。

一つ目は、著作権上の問題である。2.2節で述べたように、まとめブログでは基本的にブログ作成者が内容にコメントを加えることはない。2ちゃんねるユーザーの書き込みをそのままコピーし貼り付けただけのまとめブログは著作権の侵害ではないか、という意見は根強い。

二つ目は、編集の問題である。スレッド内でユーザー同士の意見が対立しているような場合に、意図的に一方の書き込みだけを残し、他方を削除することで、スレッドの流れを歪曲し、まとめブログの閲覧者に対してバイアスのかかった情報を与える、という問題である。

三つ目は、アフィリエイトの問題である。自分たちの書き込みを無断で使用し金銭的利益を得るというまとめブログ作成者の行為に、嫌悪感を感じる2ちゃんねるユーザーは少なからず存在している。2006年5月下旬には、2ちゃんねるユーザーの批判を受けて、当時40前後あったまとめブログのうち15前後が閉鎖されるという事態も起こっている<sup>\*20</sup>。

## 3. まとめブログを授業にどう取り込むか

まとめブログは、台湾の高等教育における日本語学科の授業の中で、どのように紹介することができるだろうか。ここでは、日本事情系・日本文化系・ビジネス系の三つの授業について、その導入方法を考えてみたい。

### 3.1. 日本事情系

日本事情系の授業では、キュレーターとしてのまとめブログの側面を中心に紹介するのがよいのではないだろうか。

インターネットの発達にともない、個人がアクセスできる情報は爆発的に増加したが、そのために却って必要な情報を探し出すことが困難になっている。そうした状況の中、「無数の情報の海の中から、自分の価値観や世界観に基づいて情報を拾い上げ、そこに新たな意味を与え、そして多くの人と共有」しようとするキュレーションが従来のマスメディアに属さない個人にも可能となった。キュレーターの増殖そのものは世界的な潮流であるが、その日本的な例として、まとめブログを紹介するのである。

### 3.2. 日本文化系

---

\* 20 鷹木創 (2006) 「2ちゃんネタは誰のもの？ スレ紹介ブログの閉鎖相次ぐ」 『ITmedia』  
<<http://www.itmedia.co.jp/news/articles/0606/01/news066.html>> (2006年06月01日更新 2011年9月26日閲覧)

日本文化系の授業では、日本のネット文化の典型例として2ちゃんねるを取り上げたうえで、その特徴の一つである「嫌儲」のわかりやすい例としてまとめブログを紹介することができるだろう。

2ちゃんねるそのものについては、かつて『電車男』が台湾でも話題になったこともあって、学生における知名度は高い。書き込みを商業的に利用することに対する2ちゃんねるユーザーの反発は、『電車男』の出版からマンガ化・映画化・ドラマ化に至る一連のマルチメディア展開においても発生している。授業では、こうした2ちゃんねるユーザーの「嫌儲」体質が現在も続いていることのわかりやすい例としてまとめブログを取り上げることができるだろう。

### 3.3. ビジネス系

ビジネス系の授業では、まず、アフィリエイトビジネスを理解するための身近な例として、まとめブログを取り上げることができるだろう。

また、まとめブログに見られる SEO (Search Engine Optimization 検索エンジン最適化) 対策や、閲覧者のクリック率を上げるための WEB デザインは、ビジネスサイト構築のための一つの見本として研究に値すると思われる。

## 4. おわりに

以上、2ちゃんねるまとめブログとその隆盛について、キュレーションという観点から説明を試み、また台湾の高等教育機関における授業への導入の可能性について考察を行った。

「キュレーション」のような新しい概念や「嫌儲」という日本特有の文化、あるいはビジネスのための WEB サイト構築のノウハウなどは、抽象的な説明を行うだけでは学習者に伝わりにくい。学習者の興味を引きつつ日本社会の現状や日本文化の一側面を分かりやすく説明するための仕掛けとして、今回のまとめブログのみに留まらず、さまざまな例を探していきたい。

### 参考文献

#### 署名あり

岡田斗司夫(2000)『オタク学入門』新潮 OH!文庫 (初版は太田出版 1996)

佐々木俊尚(2011)『キュレーションの時代』ちくま新書

鷹木創(2006)「2ちゃんネタは誰のもの? スレ紹介ブログの閉鎖相次ぐ」『ITmedia』

<<http://www.itmedia.co.jp/news/articles/0606/01/news066.html>>

(2006年06月01日更新 2011年9月26日閲覧)

ネットレイティングス株式会社(2008)「Q&A サイトや「ウィキペディア」は職場でも重用、意外と高い「2ちゃんねる」の職場利用」

<[http://csp.netratings.co.jp/nnr/PDF/Newsrelease12242008\\_J.pdf](http://csp.netratings.co.jp/nnr/PDF/Newsrelease12242008_J.pdf)>

(2008年12月24日 2011年9月26日閲覧)

署名なし

December 2006 Web Server Survey

[http://news.netcraft.com/archives/2006/12/05/december\\_2006\\_web\\_server\\_survey.html](http://news.netcraft.com/archives/2006/12/05/december_2006_web_server_survey.html)

(2011 年 9 月 26 日閲覧)

September 2011 Web Server Survey,

<http://news.netcraft.com/archives/2011/09/06/september-2011-web-server-survey.html#more-4943>

(2011 年 9 月 26 日閲覧)

「キュレーションサービス [Cloudnote]」<http://cloudnote.jp/>(2011 年 9 月 26 日閲覧)

「掲示板編集ツール「まとめるクン(仮)」をリリース！」

[http://wiki.livedoor.jp/livedoor256789/d/%B7%E%A8%C8%C4%CAf%B8%A5g%BC%A5%EB%A1,%Z%E1%A4%F3\(%B2%BE\)%A1%F2%A5%EA%A5%A5%B9%A1%AA#](http://wiki.livedoor.jp/livedoor256789/d/%B7%E%A8%C8%C4%CAf%B8%A5g%BC%A5%EB%A1,%Z%E1%A4%F3(%B2%BE)%A1%F2%A5%EA%A5%A5%B9%A1%AA#)

(最終更新 2008 年 6 月 27 日 2011 年 9 月 26 日閲覧)

「更新履歴 [cloudnote]」<http://2ch.cloudnote.jp/docs/changelog>(2011 年 9 月 26 日閲覧)

社団法人日本アドバタイザーズ協会 Web 公告研究会 (2008) 「「消費者メディア市場規模調査」結果発表」[https://www.wab.ne.jp/wab\\_sites/uploaders/670\\_080402\\_cgm.pdf](https://www.wab.ne.jp/wab_sites/uploaders/670_080402_cgm.pdf)(2008 年 4 月 2 日 2011 年 9 月 26 日閲覧)

「2ch ブログあんでな livedoor Blog のアクセスランキング」<http://2ch.diveluck.com/ranking/>(2011 年 9 月 27 日閲覧)

「2ch まとめブログランキング」<http://blog.with2.net/rank1071-0.html>(2011 年 9 月 26 日閲覧)

「2ちゃんねる人気ランキング」<http://internet.blogmura.com/2ch/>(2011 年 9 月 26 日閲覧)

「2ちゃんねる ランキング」[http://blogranking.fc2.com/rank/450600\\_1.html](http://blogranking.fc2.com/rank/450600_1.html)(2011 年 9 月 26 日閲覧)

